

JR東日本労働組合

NAGANO

E-mail naga-30-naga@hotmail.co.jp



ホームページはこちら

2025年12月29日

No578

JR東日本労働組合

長野地方本部

発行者：岡村 和 幸

交渉速報

申第3号

「長野総合車両センターで発生した適切に

石綿を処理しなかった事象について」に関する緊急申し入れ



長野地本は12月19日、申第3号「長野総合車両センターで発生した適切に石綿を処理しなかった事象について」に関する緊急申し入れについて、長野支社と団体交渉を開催しました。

1. 石綿を適切に処理できなかった原因について明らかにすること。

会社回答：長野総合車両センターの廃車解体工事において、石綿を含有した車両部品を適切に処理されていなかった事象である。

2. 社員および地域住民の健康影響等について明らかにすること。

会社回答：部品を破断させずに取り外し、運搬の過程においても飛散の可能性もなく、周辺住民の方々に健康上の影響を及ぼすことはない判断している。

3. 今後の対策について明らかにすること。

会社回答：長野総合車両センターにおいて、必要な対策を行っていくこととなる。

【議論要旨】

組合：石綿に対する危機感が薄まっている現状を踏まえれば、本社として石綿車両については完全に仕切る必要があるのではないか。

会社：建物工事する時には業者が調査し、飛散防止という形で進めている。今回の車両は図面の部分で齟齬があったという認識にある。

組合：法律違反である。本社で仕切れないのであれば支社がやればよい。二度と起こしてはならない。現場が全て悪いわけではない、システム的に対策も何重にも立てないと取りこぼしが出ることは今回分かったと思う。

会社：いただいた内容については首都圏本部にも共有していく。

組合：被害者、中皮腫の方を出さないことが最大の目的である。そこは気づける仕組みづくりだと思っている。その役目は支社、本社だと思うのでぜひお願いしたい。

働く者の命と健康を守るため

労働組合のチェック機能を果たそう！